

図1 台地土における乾物収量推移(更新2-8年目)
 1) 2013、2014年更新の草地。前植生はどちらもRCG優占草地。更新2-7年目のデータは2圃場の平均で、更新8年目のデータは2013年に更新したもののみ。
 2) OG、PRはそれぞれ播種量2kg/10aでOPはOG、PRそれぞれ1kg/10aずつのOP50区のデータ。

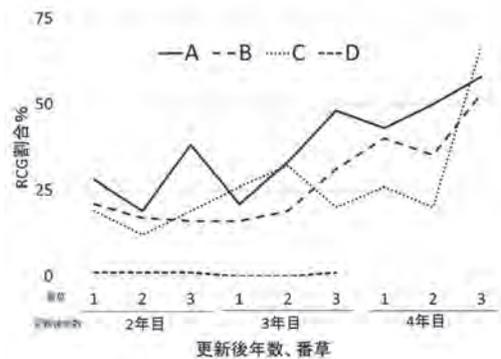


図2 泥炭土におけるOG、PR混播圃場のRCG割合の推移(2018-2020年)
 1) A~Cは2017年更新、Dは2018年更新。OG、PRはそれぞれ播種量1kg/10a(OP50区)。RCG割合は生重%。
 2) A:客土深13cm土砂含量67%、B:客土深20cm土砂含量67%、C:無客土、土砂含量41%、D:客土深15cm土砂含量85%。

表1 刈取り回数別乾物収量と牧草率の推移

刈取回数	番草	更新2年目		更新3年目		更新4年目		更新5年目		更新6年目		更新7年目		更新8年目	
		乾物収量 kg/10a	牧草率 %												
3回	1番	470 (94)		353 (87)		303 (87)		326 (93)		340 (94)		378 (92)		329 (94)	
	2番	337 (88)		316 (86)		268 (86)		200 (96)		228 (95)		199 (92)		310 (91)	
	3番	369 (94)		285 (94)		205 (96)		210 (97)		218 (81)		267 (95)		205 (95)	
	年合計	1176 (92)		953 (89)		776 (89)		735 (95)		786 (91)		844 (93)		844 (93)	
2回	1番	606 (89)		519 (91)		330 (74)		308 (74)		357 (86)		369 (81)		330 (84)	
	2番	355 (89)		361 (86)		256 (86)		211 (72)		244 (81)		205 (75)		258 (86)	
	年合計	962 (89)		880 (89)		586 (79)		519 (73)		601 (84)		627 (72)		587 (85)	
年合計における比(2回/3回)		0.82	0.96	0.92	1.00	0.76	0.89	0.71	0.77	0.76	0.93	0.74	0.78	0.70	0.91

1) 2013、2014年更新の草地。前植生はどちらもRCG優占草地。更新2-7年目のデータは2圃場の平均で、更新8年目のデータは2013年に更新したもののみ。2回刈りの1、2番草は更新4年目までは地域慣行(1番草6月下旬、2番草8月下旬)、5年目以降は3回刈り区と同時期に刈取った。

表2 OG、PR、RCG混合割合とサイレージ発酵品質

混合割合			1番草(6/6)				2番草(8/1)				3番草(9/14)			
OG	PR	RCG	WSC	VBN/TN	V-Score	pH	WSC	VBN/TN	V-Score	pH	WSC	VBN/TN	V-Score	pH
50	50	0	12.9	7.2	80	4.3	8.7	9.9	84	4.5	11.0	9.2	84	4.5
40	50	10	12.8	9.0	72	4.2	8.6	7.8	89	4.4	10.8	15.0	62	4.6
40	40	20	12.3	9.2	76	4.2	8.4	6.5	93	4.4	10.4	12.3	74	4.7
40	20	40	11.5	9.5	77	4.3	7.8	6.2	93	4.5	9.6	10.2	79	4.5
30	20	50	11.3	9.1	81	4.3	7.8	8.2	89	4.6	9.5	14.1	67	4.6
0	0	100	10.1	7.5	69	4.6	7.1	8.4	82	4.6	8.2	18.9	37	5.0

1) 小規模パウチ法(30cm×15cm、4反復)での結果。予乾後の牧草水分:70-76%。
 2) OG、PR、RCGは混合割合で生重%。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
 道総研酪農試験場天北支場 地域技術グループ 岡元英樹
 電話 01634-2-2111 FAX 01634-2-4686
 E-mail okamoto-hideki@hro.or.jp